

TBA 機械工具版

電話 03(6667)1037
FAX 03(6667)1041

改正道交法対策を支援

顔認証カメラ アルコール検知器 統合システム

高精度長寿命センサー採用

グッドワン（東京都中央区・折田英輝代表取締役社長）は、顔認証サーマルカメラとアルコール検知器を統合した「顔認証アルコールチェックシステム」を6月発売した。道路交通法改正によって今年10月から、社用車5台以上もしくは定員11人以上の自動車を1台以上保有する事業所で「運転前後のアルコール検知器を用いた測定および測定記録の1年間の保管」が義務化される。同社は低価格・高性能な自動記録システムを新たに提案することで、幅広い事業所の改正道交法対策を支援する。

グッドワン

8寸のディスプレイセンサー、卓上型スタンを備えた顔認証サーマルカメラとアルコール検知器（電気化学式）による顔認証・検温



卓上型

アルコール検査・測定記録（運転者名と業務に係る自動車登録番号、確認日時、確認方法など）自動保存の連続の流れで、コロナ対策とアルコール検知が同時に行える。AI認識で個人情報入力の手



フロアスタンド型

者への対応）も予定している。アルコール検知には、警察でも使用している電気化学式（燃料電池式）ガスセンサーを採用。アルコール濃度を判別するセンサーには半導体式と電気化学式があるが、半導体式は測定時間は短いものの精度が悪く寿命も短い（1000〜2000回測定）。一方で電気化学式は、測定時間は半導体式より少し長い。測定精度が高く寿命が長い（定期校正頻度は2年に1回）。道交法には一定期的に故障の有無を確認し、故障がないものを使用しなければならぬ」と明記されており、メ

ンテが可能で長期使用に向く電気化学式は、法令順守面で安全だ。同社は2022年度新規取り扱製品の一つとして、9日に開催される全石連の「仙台SS見本市」に新システムを出品する予定（展示品はフロアスタンド型）。これまで実績を積み重ねてきたSS向けLED照明製品と同時に、改正道交法対策を支援する製品としてSS関係者に訴求していく。